

第2回



10代がえらぶ海外文学大賞

ノミネート作品発表!



『FREE 歴史の終わりで大人になる』
レア・イピ
山田文 訳/勁草書房



『あいだのわたしたち』
ユリア・ラビノヴィチ
細井直子 訳/岩波書店



『こうしてぼくはスパイになった』
デボラ・ホプキンソン
服部京子 訳/東京創元社



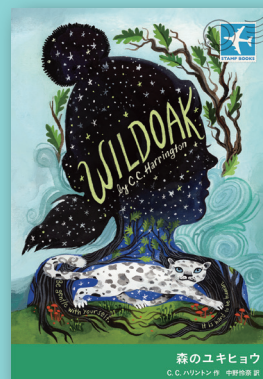
『さあ目をとじて、
かわいい子』
サリー・ニコルズ
杉本詠美 訳/偕成社



『そして砂漠は消える』
マリー・パヴレンコ
河野万里子 訳/静山社



『トビウオの声を聞いた日
ギリシャの海とエレナの秘密』
マイケル・モーパーゴ
佐藤見果夢 訳/評論社



『森のユキヒョウ』
C.C.ハリントン
中野怜奈 訳/岩波書店



10代がえらぶ海外文学大賞

記念すべき第2回のノミネート作品が決まりました!

10代のみなさんの投票で、大賞を決定します。

この**7作の中から1作を選んで**投票してください。

1冊でも読んで、それが面白かったら投票して下さってかまいません!

※投票時、メールアドレスなどの個人情報を入力不要です。

投票期間：7月1日(水)～10月12日(月)



投票は
こちらから